

2013年6月27日

ニュータニックス合同会社

ニュータニックス、あらゆる企業向け
仮想化コンピューティング・プラットフォームの導入を実現する
新プラットフォーム 2種を発表

「NX-1000 シリーズ」

中小規模の企業やブランチオフィス向けに設計された統合プラットフォーム

「NX-6000 シリーズ」

大容量のストレージリソースにより様々なアプリケーションに対応可能な
データセンター向け統合プラットフォーム

Nutanix Inc.（本社：米国カリフォルニア州、創業者兼 CEO：Dheeraj Pandey 以下、Nutanix）は、コストや性能、拡張性に優れ、ほぼすべてのエンタープライズアプリケーションを動作できる 2 種類の新プラットフォーム「NX-1000 シリーズ」および「NX-6000 シリーズ」を発表しました。これらの新プラットフォームにより、ニュータニックスの仮想化コンピューティング・プラットフォームにおけるポートフォリオが拡充し、これにより企業の IT 部門は自社の環境に合わせてサーバやストレージ環境をシームレスに拡大できるようになります。IT リソースが限られた支店のオフィスや、タスクの多様化に伴い厳しいワークロードへの対応が求められるコア・データセンターなど、様々な企業の要求に応じて対応ができるようになります。

「NX-1000 シリーズ」は中小規模の企業やブランチオフィス、小売店舗などに向けた統合インフラを、導入しやすい価格で提供するとともに、IT 管理の負担を大幅に効率化します。さらに「NX-6000 シリーズ」は大容量のストレージリソースを Nutanix クラスタに追加し、ビッグデータプロジェクトやハイエンドデータベース、要件の厳しい仮想デスクトップインフラ（VDI）など、大量のデータセットを必要とするアプリケーションにも対応が可能です。

中小規模企業向けにコンバージドインフラを提供する「NX-1000 シリーズ」

「NX-1000 シリーズ」がターゲットとしている中小規模の企業やブランチオフィス、小売店舗などでは一般的に IT 管理の人材が不足しており、サーバとストレージレイとネットワークが別々に構築された従来型のインフラを十分かつ専門的に管理することが難しい状況にあります。既存製品を組み合わせることで 1 つのシャーシやキャビネットにパッケージ化した他のコンバージドインフラ向けソリューションとは異なり、「NX-1000 シリーズ」は Nutanix の他のプラットフォームと同様、データ

センターをよりフラットなアーキテクチャにすることができ、SAN/NAS といったストレージ専用システムの構築の必要がなくなり、複雑さを排除して運用負荷を大幅に軽減します。

この新たなプラットフォームには、ソフトウェアベースのストレージ制御技術やフラッシュに対応したデータの階層化、パフォーマンスを犠牲にしないデータ圧縮といった最先端の情報ライフサイクル管理 (ILM) 機能を含め、Nutanix の仮想化コンピューティング・プラットフォームで提供されているあらゆる機能が搭載されています。

また、NX-1000 はローカルアプリケーションや仮想デスクトップの導入、ファイルや印刷サービス、DHCP や DNS サービス、WAN 最適化のためのコントローラ、さらにセキュリティを目的とした仮想アプライアンスまで、ブランチオフィスに必要なサービスすべてを単一のプラットフォームで提供し、他の手法に比べて必要なスペースや消費電力を最大で 80%削減します。

(例 : Disc シェルフ 4U+Disc コントローラ 2U+SAN switch 1U*2 + Rack server 1U*2 計 10U → Nutanix 1Block 2U)

「NX-1000」シリーズの主な特長 :

- 2U アプライアンス 1 台で一般的な中小規模企業やブランチオフィス、小売店舗の仮想ワークロードを実行する、導入しやすいコンバインドインフラ
- 既存のネットワークインフラ (1 Gbps または 10 Gbps イーサネット) を柔軟に活用でき、導入コストの削減と導入期間の短縮を実現
- 追加購入の必要の無い実装済みのデータ複製機能やバックアップ機能によって、VM 固有のデータを自動的に保護
- サーバとストレージを同一筐体に収容したノード毎に拡張できる、柔軟な価格設定

[日本での販売価格] 1ブロック (4 ノード) 1,000 万円～

統合インフラに大容量のストレージリソースを提供する「NX-6000 シリーズ」

現在、統合インフラソリューションの多くがブロックベースの手法を使用して企業データセンターの簡素化を図っています。しかし、ほとんどの場合では、それぞれの企業に特有の業務アプリケーションやサービスのニーズに最も適した形でインフラの機能を導入することができません。

Nutanix の「NX-6000 シリーズ」は、統合インフラの単一プラットフォーム上で大容量のストレージリソースを提供できる、データセンター向け統合プラットフォームです。これまで統合インフラを購入した企業は多くの場合、ベンダー主導で製品の組み合わせが行われているため、ベンダーにより一方的に定められたストレージ容量やコンピュータ性能を導入するしかありませんでした。しかし、現在ほとんどの企業では、複数のアプリケーションを同一の環境で稼働させる必要があります、これに合わせてそれぞれ異なるリソースが要求されています。そのため企業の IT 部門では環境に合わ

せて対応できるインフラを求めています。Nutanix の NX-6000 プラットフォームでは、この課題に対し、企業がデータセンターの設計や拡張を 1 つのアプライアンスで実行できるようにするとともに、ストレージやサーバを必要に応じて適切な容量だけ追加できるようにしました。

「NX-6000 シリーズ」の主な特長：

- コストのかかる不必要なリソースを購入することなく、IT 部門がストレージの選択や設定容量の拡張を必要に応じて実行可能
- 既存の Nutanix クラスタにシームレスに追加でき、単一の環境内に最適な形で新たなプラットフォームを組み合わせ、複数の業務アプリケーションの同時稼働を実現
- Nutanix の従来のプラットフォームに比べ 3 倍以上のストレージ容量を提供し、SQL データベースや Hadoop によるデータ分析、大規模 VDI の展開など、多くのデータ容量を必要とするアプリケーションに対応
- インラインおよびポストプロセスのデータ圧縮機能を搭載し、スペース効率に優れた 2U のプラットフォームで 35 TB（テラバイト）から 70 TB の使用可能なストレージ容量を実現
- コスト効率の高い価格で提供

[日本での販売価格] 1 ブロック（2 ノード）1,980 万円～

Nutanix Inc.のマーケティング担当バイスプレジデントのハワード・ティン（Howard Ting）は今回の新製品について次のように述べています。

「Nutanix は NX-1000 や NX-6000 を新たに加えて、業界をリードする仮想化コンピューティング・プラットフォームのポートフォリオを拡張し、企業がそれぞれのビジネスニーズにあわせてインフラを導入できる柔軟性を提供します。中小規模の企業やブランチオフィスでのインフラの運用管理を大幅に簡素化すると同時に、ストレージやサーバの適切な規模を選択できるソリューションを導入しやすい価格で提供することによって、Nutanix は引き続き業界をリードし、エンタープライズデータセンターの再構築を推進していきます」

【詳細情報】

- Nutanix 仮想化コンピューティング・プラットフォーム
<http://www.nutanix.com/virtual-computing-platform/>
- Nutanix NX-1000 および NX-6000 プラットフォーム
<http://www.nutanix.com/launch>

Nutanix Inc.について

Nutanix Inc.は、データセンターインフラ向けに大規模な拡張性と画期的なシンプルさを兼ね揃えた効率的なソリューションを提供しています。Nutanixの仮想化コンピューティング・プラットフォームは単一のアプライアンスでサーバとストレージの統合をシームレスに実現する機能を内蔵し、業界で高い評価を得ています。米国カリフォルニア州サンノゼに本社を置き、世界各国に営業拠点および正規ソリューションプロバイダを展開しています。Nutanix Inc.の詳細については、www.nutanix.com をご覧ください。

【本件に関する報道機関からの問い合わせ先】

ニュータニクス合同会社

担当：川端

電話：03-5288-5251 E-mail：makoto@nutanix.com